



多台数監視カメラシステムを統合管理する「オムニキャスト」との高い親和性

加賀ソルネット

目的

- 高性能・高信頼性の監視システム構築

アプローチ

- 最新、高スペックCPUの採用と高信頼性
- IPカメラシステムに要求される高信頼性、長時間稼働などに応えるスペックのワークステーションを採用

システムの効果

- 圧縮効率の高いh.264を高性能ワークステーションで快適に表示
- デスクトップと同じ強力なパワーを持つモバイルワークステーションでフレキシブルな監視映像閲覧環境を構築

ビジネスへの効果

- 高信頼性・高性能なHP Workstationと充実したサポートで、お客様、販売店も安心して監視カメラシステムを構築、運用可能となった

IPカメラの優れた特長を統合管理できるソフトウェアとして、世界トップシェアを誇る(IHS Research 発表)のがカナダ Genetec 社の「オムニキャスト」。Genetec 社の国内代理店である加賀ソルネットは、「オムニキャスト」と HP Workstation を組み合わせた映像監視システムを提案して、顧客から高評価を得ている。

同社は加賀電子グループにおける SI ソリューションプロバイダという立場で、まだアナログ監視カメラを使用するシステムがメインだった5年以上前から監視カメラシステムの取り扱いを開始。そんな中で、「今後、監視カメラシステムにもデジタルの時代が来ると考えました。当時 IP カメラのシステムとして NVR が主流だった中、まだ日本ではメジャーではなかった VMS (Video Management Software) を扱うようになりました」(太田博之営業推進部営業推進二課マネージャー)。このような背景から、Genetec 社の VMS「オムニキャスト」と「セキュリティセンター」の扱いを始めた。同社では、ソフトウェアの提供のみではなく、HP Workstation などを活用したシステムインテグレーションにも携わっている。

映像監視市場は予想以上のスピードでデジタル化

同社はアナログ監視カメラシステムが市場の大半を占める時代から映像ビジネスに関わっているが、デジタル化、IP化への進捗が予想以上のスピードで進んでいると見ており、「実際に、一昨年から昨年頃にかけて、IP監視カメラがアナログ監視カメラを出荷量で逆転したという発表も多くなり、思っていたよりも早くデジタルの時代が来たと実感しています」。

「オムニキャスト」の大規模システムの強みと高信頼性

VMSのメリットと仕組みについては、「大規模な監視カメラシステムを安定運用できる点が最大のメリットです。大規模システム自体は、NVRを用いても可能ですが1台のNVRに、最大50-60台のカメラを収容し、それを積み上げる考え方なので、シームレスなシステムの構成は難しい。MVSである「オムニキャスト」は、制御サーバーと録画サーバーを完全に独立して構成でき、制御サーバーが全体を見渡す仕組みで、数百台を超える監視カメラシステムでもシームレスな運用が可能です」。また、良く聞かれる質問として、トラブル発生時の

NVRとVMSの相違点がある。トラブル発生時にNVRの場合、各NVRへの接続台数分のカメラにしか影響が及ばないが、VMSである「オムニキャスト」は100台を超えるカメラをシームレスに運用する方式であるがゆえに、全てのカメラに影響が及ぶのではないかと疑問が生じる。こうした疑問に対して、「オムニキャストはアプリケーションレベルでフェイルオーバー機能を備えています(オプション)。このフェイルオーバー機能は、運用中にサーバー等の機器が故障しても他の機器にその機能を自動的に切り替え、復旧した際には再び自動的に復旧した機器に機能を戻し、高い可用性を実現しています。100台を超えるシステムを構成する際はほとんどのお客さまがこのオプションを選択され、安定した運用を実現しています」(同)と高信頼性を有する点は、利用者に大きな安心を与える。同社では近年、1システムあたりの平均カメラ台数は120-130台規模、200-300台以上のシステムを年間10件以上手掛けている。国内では小、中規模台数システムが大半とされる中、今後は大規模システムの増加も期待される。同社の監視カメラシステムを導入する業種としては、ショッピングモールなどの大規模商業施設、データセンター、都心部の大型オフィスビルなどの案件は多い。今後は金融、鉄道や物流関係などで同社の強みを生かせるが見ている。



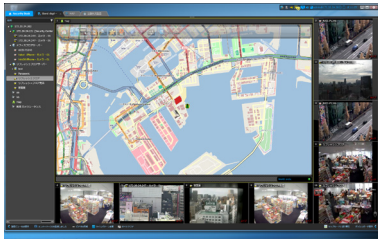
加賀ソルネット
太田博之マネージャー



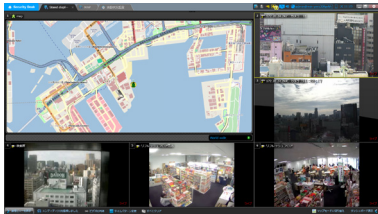
加賀ソルネット

所在地・東京都千代田区外神田 3-12-18

URL <http://www.solnet.ne.jp>



Genetec



SecurityCenter

Omnicast

システムのバックボーンとなる 高性能、高信頼性マシン

IP カメラシステムのバックボーンとなるのが、信頼性が高いマシンである。

今後の IP カメラシステムでは、高いセキュリティ性を実現するために高画質を踏まえた記録の長期保存、長時間連続運用といった要望が進むことが予想される。

こうした映像監視システムの要望に応える性能、ラインナップを備えるのが、HP Workstation。今後の IP カメラシステムに要求される高信頼性、長時間稼働などに応えるスペックを搭載している。

万一のサポート体制も充実。HPでは、ワークステーション専用テクニカルサポートを東京に設置するとともに、専門部署の日本人エンジニアが適切にサポート対応しているため、状況確認や問題発生時の対応が遅れるといったユーザー側の不安を払拭。故障発生時には、全国のサービス拠点から現場に駆け付け、修理対応なども実施。HP Workstation は 3 年間 365 日(土・日・祝含む)のハードウェアオンサイトを標準保証。保証期間は最大 5 年間までの延長が可能。

CPU パワーと モバイル Workstation を評価

アナログカメラでは実現できなかった高画素、高画質 IP 監視カメラが多数発売され、かつ、圧縮効率の高い h.264 が採用されており、監視端末の CPU に大きなパワーが必要となる。同社が HP Workstation を評価する理由として、映像監視システムは「サーバーのみならず、クライアントも 365 日 24 時間稼働する 경우가多く、「Workstation レベルの高スペックでなければ、システムが成り立たないと感じています」。同社では以前から Z210, Z220 の SFF を多数採用しているが、その大きな理由は最新、高スペック CPU の採用と高信頼性にある。

また、HP ではモバイル Workstation も製品化しており、同社の評価も高い。監視カメラシステムはクローズドネットワークでの運用が多いが、PC や電話のネットワークなどを全て一緒にした統合環境で運用するユーザーも増えている。こうしたユーザーからは、防犯目的だけではなく、売場の活況度合いの確認、工場などでは作業の進捗度の確認などの目的のため、警備員以外の関係者もカメラの映像をモニ

タリングしたいといった要望が寄せられるケースがある。こうした要望に対して、モバイル Workstation を採用すれば、より多くの関係者によるモニタリングが可能となる。高画質カメラ映像によるモニタリングを求めるユーザーは増えており、その対応として HP Workstation を導入するケースが目立ったが、今まではノート PC という選択肢はなかった。

HP Zbook Mobile Workstation の印象として、「ノート PC とは全然違いますね。普通のデスクトップワークステーションを使っているのと同じような感じです。パフォーマンスに余裕があります」と高評価。ノート PC だから、止まることがあってもやむを得ないとはならないため、CPU のパワーとそれに裏付けされた安定稼働が求められる。

オンサイトサポートがしっかりした メーカーと組むことを最重要視

同社では先に記した HP Workstation のオンサイトサポートを非常に高く評価している。その理由として、「システムやソフトウェアについてはフェイルオーバー等の仕組みにより高可用性を実現できるが、ハードウェアの故障に対してはオンサイトサポートがしっかりしたメーカーと組むことが一番重要だと思っています。HP Workstation のオンサイトサポートサービスの内容は非常に良いと思っています。こうした点は、単にスペックやカタログの数値だけでなく、お客さまもそして我々も安心できることだと思っています」。

今後も高画質化が進むことが予想されるが、Genetec 社のソリューションは高度な検索機能など、他との差別化を打ち出せる強みを持つ。こうした VMS が、世界的に採用を増やしている背景には、多くのメーカーの新たなカメラをサポートしながら、オープンプラットフォームを掲げた考え方への理解が広がっている点も挙げられる。加賀ソルネットでは、クライアントのみではなくサーバー製品も、HP 製品を採用することが多い。今後の映像監視システムを検討する際、加賀ソルネットと HP によるソリューションは有力な選択肢となる。

取材・文責 セキュリティ産業新聞編集部

「セキュリティ産業新聞 2014 年 1 月 25 日号より抜粋」



記事を共有する

